

当科にて手術を施行した腎盂尿管癌症例の臨床的検討

1. 研究の背景

腎盂・尿管癌は、腎盂尿管の尿路上皮(移行上皮)粘膜より発生する悪性腫瘍であり、病理組織学的には、その約90%以上は尿路上皮癌であるが、稀に扁平上皮癌、腺癌、小細胞癌、未分化癌等がある。腎盂・尿管癌は、同じ尿路上皮から発生する膀胱癌に比し稀であり、全尿路上皮腫瘍の約5%を占めるとされている。尿管腫瘍の発生頻度は腎盂腫瘍の約1/4とされている。

2. 研究の詳細

腎盂尿管癌手術症例の術前のステージ、手術方法、病理結果、術後補充療法等を検討し、その予後との関係を調べる。

3. 目標症例数と研究実施期間

2012年～2016年末の5年間に当院泌尿器科で腎盂尿管癌の診断にて手術を受けた患者

4. 研究実施者及び連絡方法

研究責任者：地域医療機能推進機構金沢病院泌尿器科部長 高島三洋

研究分担者：同病院泌尿器科部長 上野悟

TEL: 地域医療機能推進機構金沢病院(代表)076-252-2200

情報の管理責任者: 地域医療機能推進機構金沢病院泌尿器科部長 高島三洋

5. 倫理的配慮

本研究結果を学会や学術雑誌へ発表することがあるが、その時には個人情報匿名化し、保護します。情報は厳重に管理し、本研究の目的以外には使用しません。